

ご両親も重要です

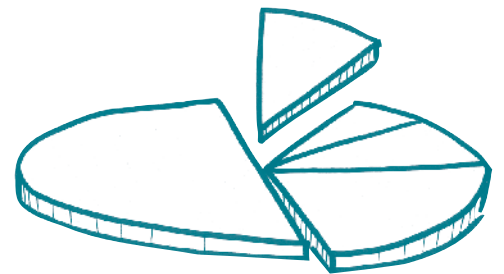
子供を助ける – グラフと表を作り解釈する

毎日の生活でグラフや表で表される情報を理解する必要があります。この種の情報は新聞やパンフレット、ポスターやテレビで見ます。グラフは、情報を記録し説明するのを簡単にするとともに、天気予報、利息や家庭での将来の電気使用料金を予測するのに役に立ちます。子供は数学の授業だけでなく科学、保健、その他の授業でもグラフや表を読み解釈することを学びます。

子供はグラフや表を作り解釈するのをどのように学ぶのでしょうか。

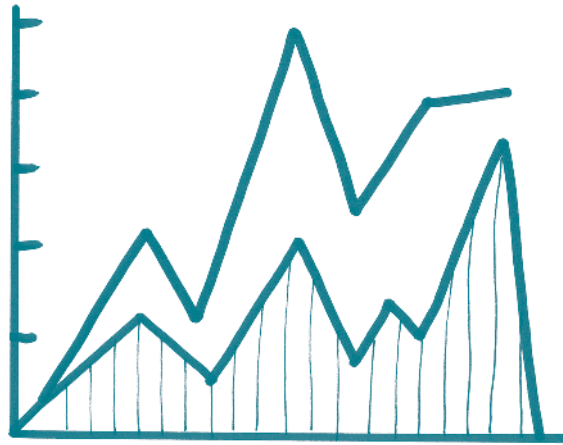
情報を集めて表にし、物や絵を使用してこの情報をグラフとして表すことにより、子供は初めてグラフを作ることを学びます。一般的に幼いときは、先生が子供に、飼っているペットなどの自分に関する事、又は駐車場にある車の色などの環境に関する情報を集め記録させます。初期段階のグラフでは、1つの絵が1つの物を表します。

年齢が上がると子供は調査の結果を表すために計数マーク（例えば、**||||**）を使用することを学びます。例えば、子供は計数マークを使用して一定の時間内に学校の側を通る車の台数を記録します。棒グラフ、線グラフや円グラフ等の異なったタイプのグラフも勉強します。子供がグラフの解釈方法といかにグラフが情報を誤って伝えるかを見分ける方法を知ることが大切です。



家庭で出来ること

- 子供の身長と体重を測り、経時の変化をグラフに記録する。
- 今度子供が興味を持ちそうな話題のグラフを新聞で見つけたら、一緒に座ってグラフについて考えてみる。一緒に次のような質問に答えてみる：「このグラフは何を示しているのか」、「この情報が正しいかどうかどのようにして知ることができるか」、「この情報を他の方法で表すことができるか」、「何か分からないことがあるか」



- 水道や電気代のようなグラフのある家計費の請求書を見せ、次のような質問をする：「前回の請求書と比べて、今回の水の使用量はどのくらい多いか又は少ないか」、「どのようにしたらもっと節水できるか」、「節水したらどのくらい水の使用量が減ると思うか」、「どのくらいお金が節約出来ると思うか」
- 子供がテレビを見ている時間を子供と一緒に記録する。週の終わりにテレビを見た時間を示すグラフが作れるかどうか考えてみる。
- 子供と一緒にジャンケン等のゲームをし、計数マークを使用して勝敗を記録する。
- 子供と一緒にスポーツの試合の表にある情報を読み、それについて話し合う。
- 子供と一緒に情報関係の本を読み、その中にある表やグラフについて話し合う。
- 本の目次を探し使用する方法を子供に示す。
- スポーツの練習、音楽や水泳のレッスン、家のお手伝いなどその週に子供がした活動、又は図書館、コンピュータ、学校のスポーツや銀行の用事等、学校がある週の特別な時間にした活動を表にする。

